

2021年12月24日（金）

日本環境設計グループ ペットリファインテクノロジー株式会社と京都市が、
国内最大規模の「ボトル to ボトルのリサイクル事業」に向けた協定を締結

日本環境設計株式会社（代表取締役社長：高尾 正樹、所在地：神奈川県川崎市、以下「日本環境設計」）は、子会社であるペットリファインテクノロジー株式会社（代表取締役社長：伊賀 大悟、所在地：神奈川県川崎市、以下「ペットリファインテクノロジー」）と京都市（市長：門川 大作）が 2022 年 4 月より開始する「ボトル to ボトル リサイクル事業」に係る協定を締結したことをお知らせいたします。



写真左から：日本環境設計取締役会長岩元美智彦、ペットリファインテクノロジー代表取締役社長伊賀大悟、京都市門川市長

京都市は 2021 年 3 月、持続可能な循環型社会の実現を目指すため「京(みやこ)・資源めぐるプラン」を策定しました。その重点施策である「徹底したプラスチックの資源循環」の一層の推進に向けた施策として、市民から資源ごみとして回収した使用済みペットボトルを、再びペットボトルとして再生利用する「ボトル to ボトル リサイクル事業」を 2022 年 4 月に開始することを決定しています。その事業パートナーとして、日本環境設計グループのペットリファインテクノロジーが協働して取り組んでまいります。

今回、自治体が回収した使用済みペットボトルをボトル to ボトルとして循環させる事業としては、国内で最大規模（年間約 3,000 トン）を予定しています。

使用済みペットボトルをペットリファインテクノロジーが有するケミカルリサイクルにより、石油由来の PET 樹脂と同等品質の原料に再生することで水平リサイクルを実現させ、限りある資源の再利用と新たな石油資源の使用削減につながります。また、分別し排出したペットボトルが、再びペットボトルとして活用される具体的なイメージを京都市の地域住民の方々にもっていただくことで、今後リサイクル意識の更なる向上を期待することができるため、協働して啓発活動にも取り組んでまいります。

今後も日本環境設計は「あらゆるものを循環させる」というビジョンの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、日本環境設計グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引

本件に関する取材のお問い合わせ先

日本環境設計株式会社 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

していくことに努めてまいります。

■ 京都府京都市 (<https://www.city.kyoto.lg.jp/>)

- 市長： 門川 大作

「^{みやこ}京・資源めぐるプランー京都市循環型社会推進基本計画（2021-2030）ー」について

本計画は、循環型社会の形成のために必要な施策を総合的かつ計画的に推進するための「循環型社会推進基本計画」であるとともに、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に規定される「一般廃棄物処理基本計画」、食品ロス削減の推進に関する法律に規定される「食品ロス削減推進計画」にも該当する。

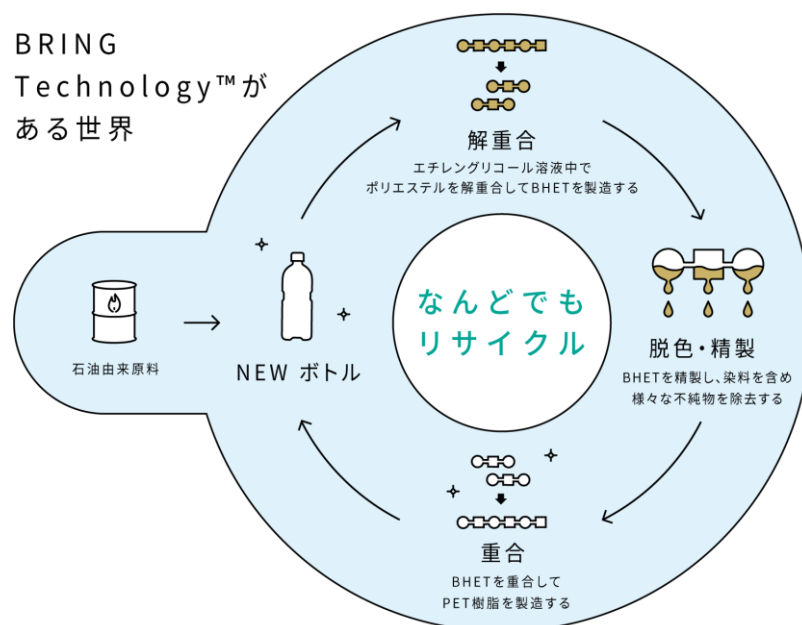
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kanky/page/0000282382.html>)

■ ペットリファインテクノロジー株式会社 (<https://www.prt.jp/#>)

- 代表取締役社長： 伊賀 大悟
- 設立： 2008年10月
- 事業内容： ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂の製造・販売

■ 日本環境設計株式会社 (<https://www.jeplan.co.jp>)

- 代表取締役社長： 高尾 正樹
- 設立： 2007年1月
- 事業内容： BRING 製品の製造・販売・服の回収・リサイクル、企業と連携したあらゆるものを循環させるプロジェクトの企画・運営、PET ケミカルリサイクル技術関連事業



本件に関する取材のお問い合わせ先

日本環境設計株式会社 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp